学　校　通　信

小竹だより

練馬区立小竹小学校　　校長　佐藤　正文

令和５年　２月号
№　５９９

春の気配　もうすぐ立春

【校庭で凧あげ　１年生】

■2023 年２月３日は、節分。翌日は立春です。厳しい寒さが続き、外の空気は冷たいですが、子供たちは、元気に遊んでいます。
■春の気配を感じる今日この頃。梅やハクモクレンのつぼみも膨らみ始め、小鳥のさえずりも多くなってきました。まだしばらくは、寒い時期ですが、それを過ぎれば「三寒四温」。春に向けてまっしぐらに進みます。
■さて、子供たちの成長においても、春の気配のように、成長の気配を感じることがあります。違う言葉で表すと成長の「兆し」が見られる時があります。大人が、その成長の気配、兆しに気付いた時、そっと見守りつつ支援をしていけたら、きっと良い成長につながるのではないでしょうか。

校長　　佐藤　正文

■人は、生まれてしばらくすると大人が話しているのをじっと聞き、そのうちに声を出して何かを訴えるようになりますね。言葉が出る「兆し」です。その後、少したつと言葉が出てきて、一生懸命話そうとします。歩く時も同じようなことではないでしょうか。初めは、はいはいをしていますが、やがて物につかまり立ちをし、手を離そうとします。歩く「兆し」です。何度もしりもちをつきながらだんだん歩くようになります。文字に興味をもつ時もそうです。読み聞かせをしてもらうことに興味をもち、しばらくすると、本を持って来て、読んでもらおうとします。文字に興味をもつ「兆し」です。
■私たち大人が、その兆しを敏感に感じ、気付き、上手に支援していく時、その成長が良い方向に向かうでしょう。一人一人の成長の階段をさらにもう一段登る「兆し」が見えてくるはずです。２月もよろしくお願いします。

～２月の感染症予防対策について～

２学期までは、感染予防を第一に考えクラスの児童全員に同じ分量を取り分けて器に盛って配膳していました。おかわりをしたい子は、担任が個別によそっていました。３学期からは、全員で「いただきます。」をする前に安全面と衛生面に気を付けながら担任の管理のもと、量を調節して一人一人自分に合った量にしてから「いただきます。」をしています。
朝の入室の仕方、休み時間の時程等については、現在検討中です。新学期からは、新しい方法、時程で学校生活を開始する予定です。